

TOSHIBA

製品カタログ 2004-10

2UラックマウントIAサーバ

MAGNIA 3335R



幅広いビジネスに応える、高性能ラックマウント専用2Wayサーバ

Intel® Xeon™ プロセッサ、Ultra320 SCSI対応のRAIDコントローラ・HDDなど、高性能の技術を2Uサイズに凝縮。
高速性と優れた拡張性、信頼性を備えたラックマウントサーバです。

Intel® Xeon™ プロセッサを最大2個まで搭載可能

高性能CPU Intel® Xeon™ プロセッサ2.40GHz / 3.06GHz / 3.20GHzを最大2CPUまで搭載可能。

FSB 533MHz最新チップセットを採用

Intel® Xeon™ プロセッサ、DDR 266 SDRAMの採用とあわせて優れた処理能力を発揮。

クラス最高レベルの拡張性

HDD7台、3.5型テープバックアップ装置、PCI-Xカード6枚を内蔵可能。
タワー型にも引けをとらない優れた拡張性を2Uクラスで実現。



*ラックマウント写真はイメージです。

高性能CPU Xeon™プロセッサ3.20GHzを採用

ハイパー・スレディング テクノロジー、Intel® NetBurst™マイクロアーキテクチャなどの技術により、マルチスレッド処理をはじめ、優れた処理能力を発揮する、Intel® Xeon™プロセッサ2.40BGHz/3.06GHz/3.20GHzを採用し、最大2CPUまで搭載可能です。ワークグループアプリケーションサーバやWebホスティング、インターネットアプリケーションサーバなどの幅広い分野で優れたパフォーマンスを発揮します。



チップセットの採用と大容量メモリに対応

高速データ転送 (FSB533MHz) を実現する、Intel® E7501チップセットを採用。また、メモリエラーの自動検出/訂正機能を持つECC付きのメインメモリはDDR266 SDRAMを採用し、最大6GBまで拡張が可能。複数ビットのエラーを修復するChipkill™機能にも対応し、メモリチップ故障に対する可用性を高めています。

高性能・高信頼性のRAIDコントローラに対応

2Uラック筐体にホットプラグ対応の内蔵HDDを最大7台まで搭載可能(最大1022GB)で、十分な拡張性を確保。さらに、Ultra320 SCSIに対応したRAIDコントローラの採用により高速なディスクアレイシステムを構築できます。



次世代高速I/Oバス PCI-Xを6スロット装備

6スロットの64bit/100MHzで動作するPCI-Xテクノロジーを採用。PCI-X対応カード使用時には800MB/sのデータ転送速度(ピーク値)を実現し、さらに高速なI/O処理が可能です。

ギガビット・イーサネットコントローラを標準装備

高速1000BASE-T対応のギガビット・イーサネットコントローラをオンボードに標準で2ポート装備し、LANの二重化も実現可能です。

電源、および冷却ファンの冗長構成に対応

熱による障害からシステムを守る冗長ファンを標準装備。2Uラックでありながら電源装置の冗長化にも対応。万一障害が発生した場合でも運転の継続を可能にし、電源まわりなどの信頼性や運用性を高めています。



サーバ管理ツール HarnessEye/web標準添付

サーバ内部の温度、冷却ファン、電源ユニットなどのコンポーネントの状態を一元監視、管理する専用コントローラを標準搭載。コンポーネントの動作状況をログに残す事により、故障解析・回復の迅速化を図ることができます。また運用状況を見守るサーバ監視ソフト「HarnessEye/web」を標準添付。ハードウェア構成情報の表示や障害監視が可能です。さらに、システム管理者への障害通知や「S.M.A.R.T」によるHDDの障害予告も可能です。

Windows Server™ 2003/Windows® 2000 Serverに対応

サーバ簡易設定ソフトSetupInstructorを標準で添付し、セットアップの手間を軽減しています。また、Windows Server™ 2003 Standard Editionプレインストールモデルを用意しています。さらに、Windows® 2000 Serverダウングレード代行サービス、Windows® 2000 Serverインストール代行サービス(DSP版)も用意しています。

ドライバ不要のイーージーメンテナンス

HDDや電源はもちろん、PCIカードやメモリユニットなどの取り付け・交換を容易にしています。

■MAGNIA 3335R 基本仕様

機種名		MAGNIA 3335R
CPU	メインプロセッサ プロセッサ数(最大) キャッシュメモリ	Intel® Xeon™ プロセッサ 2.40BGHz/3.06GHz/3.20GHz (FSB:533MHz) 2 512KB/CPU (L2キャッシュ)、1MB/CPU (L3キャッシュ) (*1)
チップセット		Intel® E7501
メインメモリ (ECC付き)	メモリサイズ(最大) 増設単位	6GB (DDR266 SDRAM、Chipkill™ 対応)(*2)) 256MB/512MB/1GB/2GB
補助記憶装置	HDD 最大(本体内部) 内蔵HDD (インタフェース) FDD	1022GB (146GB×7台) (*3) 36GB/73GB (Ultra320 SCSI、15,000rpm) S.M.A.R.T.対応、36GB/76GB/146GB (Ultra320 SCSI、10,000rpm) S.M.A.R.T.対応 3.5型×7 (*3) (ホットプラグ対応) 標準
RAID対応	SCSI制御機構 (オンボード)	SCSI-RAID 0、1、5、10 (オプション) Ultra320×2 (内部×1、外部×1)
電源装置 (最大)		2台 (冗長構成/ホットプラグ対応)
CD-ROM装置		24倍速×1 (*3)
キーボード		オプション
マウス		オプション
LANインタフェース		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T Ethernet×2 (オンボード標準搭載) (WOL、AFT、ALB対応) (*4)
表示機能	ビデオRAM	8MB
レ/Oポート	シリアルポート パラレルポート キーボードポート/マウスポート RGBインタフェース USBポート (USB1.1)	2チャンネル (RS-232C D-sub 9ピン×1、RJ45×1) — 1チャンネル (PS/2互換) (*5) 1チャンネル (背面×1/前面×1、排他) (*6) 3チャンネル (背面×2、前面×1) (*7) 1 (CD-ROM、FDDが占有) (*3)
デバイスベイ	5.25型 3.5型	1 1
レ/Oスロット	PCI-X (64bit/100MHz) (*8)	6 (3 : Full Length、3 : Low Profile)
冗長ファン		標準装備
東芝ユーティリティ		サーバ簡易設定ソフト SetupInstructor、サーバ管理ソフト HarnessEye/web
プレインストール (*9)		Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition (5CAL)
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力 (最大)		500W
本体エネルギー消費効率 [J区分] (*10)		0.0243W/MTOPS (Intel® Xeon™ 2.40BGHz)、0.0173W/MTOPS (Intel® Xeon™ 3.06GHz)、0.0170W/MTOPS (Intel® Xeon™ 3.20GHz)
磁気ディスクエネルギー消費効率 [区分] (*11)		0.2W/GB[E] (36GB、15,000rpm)、0.16W/GB[F] (73GB、15,000rpm)、0.19W/GB[B] (36GB、10,000rpm)、0.11W/GB[B] (73GB、10,000rpm)、0.07W/GB[C] (146GB、10,000rpm)
環境条件		温度:10℃~32℃、湿度:30%~80%
本体寸法 (mm)		幅:435、奥行き:613、高さ:88
本体質量 (最大)		29.0kg
対応OS		Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition、TurboLinux 8 Server (*12)、MIRACLE LINUX Standard Edition V2.1 (*12)、MIRACLE LINUX 3.0 (*12)

詳細の仕様、構成および制限事項などは「ハードウェア構成ガイド」をご確認ください。
 HDDの容量は、1GBを10億バイトで算出しています。
 (*1) L3キャッシュは、3.20GHzのCPUのみに搭載しています。
 (*2) Chipkill™は、1GB以上のメモリユニットで対応しています。(メモリの全容量1GB超とは異なります)
 (*3) 磁気ディスク装置を7台内蔵する場合には、7台目はCD-ROM/FDDと入れ替えて使用します。
 (*4) WOL (Wake On LAN) : LAN経由でサーバの電源をONにする機能。 AFT (Adapter Fault Tolerance) : LANの二重化。
 ALB (Adaptive Load Balancing) : 複数のLANを使用して送信帯域幅を向上させる機能。
 (*5) キーボードとマウスは共通コネクタとなるため、同時使用時は付属の分配ケーブルを使用します。
 (*6) 背面と前面に同時に接続すると前面のRGBインタフェースが有効になります。 (*7) USBポートはUSB対応周辺機器全てでの動作を保証するものではありません。
 (*8) Full lengthのスロットを複数枚使用時は、64bit/66MHzの速度として動作します。 Low Profileのスロットを3枚使用時は64bit/66MHzの速度として動作します。
 (*9) OSがプレインストールされないモデルもあります。また、プレインストールは1モデルにつき1OSとなります。
 (*10) 本体エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める推論性能で除したものです。
 (*11) 磁気ディスクエネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める記憶容量で除したものです。
 (*12) Linux使用時の動作範囲については、商品情報ホームページをご確認ください。詳細については、担当営業までお問い合わせください。

- Chipkillは、米国IBM社の商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Intel、Xeon、Intel NetBurstは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- MAGNIAは、株式会社東芝の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- MIRACLE LINUXの名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社が使用許諾を受けている登録商標です。
- TurboLinuxの名称およびロゴは、米国TurboLinux, Inc.の登録商標です。
- TurboLinuxおよびターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- 本カタログに掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 誤動作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および本商品の使用不能により生じたお客様の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータ等は、必ずお客様の責任の下、普段からこまめにバックアップされるよう願います。



商品情報ホームページ
<http://www.magnia.toshiba.co.jp/>

安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

TOSHIBA
株式会社 東芝 PC&ネットワーク社
 サーバ・ネットワーク事業部
 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
 TEL : (03) 3457-3019
 Email : pcserver@ieg.toshiba.co.jp

●本カタログの内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。●本カタログに掲載の商品の価格には、送料調整費、使用済み商品のお取り扱費等は含まれておりません。

東芝は、Microsoft® Windows Server™ 2003を積極的にサポートして参ります。